

【経尿道的膀胱腫瘍切除術】 患者様パスシート(ケアマップ)

ID: 患者氏名: 主治医: 担当看護師: 適用開始日: 入院予定日数 7日

| 評価 | 評価 | 入院日 | 手術当日 | 1病日 | 2~4病日 | 5病日 | |
|-------|-------------|--|---|---|---|------------------------------------|--|
| アウトカム | P.患者所見 |  | | | 感染兆候がなく過ごせるように援助します。 | | |
| | C.治療・検査・栄養 | | 手術が安全に開始でき、術後血尿による尿の管の閉塞や合併症がなく過ごせるように援助します。 | 血尿による管の閉塞や合併症がなく過ごせるように援助します。 | 血尿による管の閉塞や合併症がなく過ごせるように援助します。 | | |
| | L.生活(活動・清潔) | | | | | | |
| | E.理解・自己管理 | 手術について理解でき、心身ともに手術の準備ができるようにします。 | | | | 退院後の生活の注意点が理解でき、不安なく退院できるように説明します。 | |
| 移動食事 | 移動 | | 手術後はベット上安静になります。 | 清拭後から歩くことができます。 | 尿道カテーテルに注意し、歩行してください。 | | |
| | 食事 | 夕食まで食事可能です。夜9時以降は絶飲食となります。   栄養士より食事について説明があります。 |  食事はできません。 |  朝から食事を開始します。ゆっくり食べてください。 | | | |
| 治療 | 処方 | 内服薬を確認しますので入院時に持参して下さい。  | | 必要な持参の内服薬は継続服用します。  | | 必要時、退院処方があります。 | |
| | 注射 |  |  術前より点滴を開始します。 |  点滴があります。食事摂取可能となったら点滴は終了します。 | | | |
| | 処置 |  21時に下剤を内服します。 |  膀胱内に薬が入ります。  | | | | |
| | | 医師より手術の説明があります。 | 手術後は尿道カテーテルが入ります。 | | | 4病日目で尿道カテーテルを抜去します。 | |
| | | | 術後は合併症予防のため、起き上がったりできません。安静に過ごしてください。 | | | | |
| | | | 手術後4時間から水やお茶を飲んで大丈夫です。 | | | | |
| | | 足に血栓予防のマッサージ機をつけます。 | 血栓予防のマッサージ機をはずします。 | | | | |
| | |  時間ごとに尿量、血圧測定します。  | | | | | |
| 検査 | 検査 | | | | | | |
| 看護 | 看護指示 |  入浴していただきます。 | |  清拭をします。尿道カテーテルが入っているため、陰部を洗います。 | 清拭をします。陰部を洗います。  | | |
| | | 必要物品を確認します。 | | | 4病日で尿道カテーテルを抜きます。抜いた後排尿の確認をします。 | | |
| | | 入院生活について説明します。 | | | | | |
| | | 入院診療計画書をお渡しします。 | 手術中ご家族の方は病室でお待ちください。 | | | |  |
| | | | 手術後、主治医から説明があります。  | | | | 退院の説明をします。  |
| 文書 | 文書 | | | | | 退院療養計画書をお渡しします。 | |

竹田総合病院 泌尿器科 平成30年5月改訂